

<u>科目名</u>	<u>科目担当代表教員</u>	<u>ページ数</u>
食行動科学特論	小塚 美由記	2
食品機能学特論	峯尾 仁	7
健康教育学特論	侘美 靖	12
健康教育学特論演習	侘美 靖	17
食物アレルギー学特論	續 佳代	22
学術論文作成法	峯尾 仁	27
健康栄養科学特論	木村 浩一	32
健康栄養科学特別総合実験・演習	木村 浩一	37

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		専門基礎科目 専門基礎科目					
科目名		食行動科学特論				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分		単位	2
担当教員	小塚 美由記、白幡 亜希						
<b>授業の位置づけ</b>							
<p>ディプロマ・ポリシーの「指導対象者それぞれの身体状況やライフスタイル、さらに健康知識の理解度に適応した指導方法を判断し、分かり易く説明できる。(思考・判断・表現)」を達成するための科目であり、後期の「栄養教育論特論」に直接つながる基礎の科目である。「健康栄養科学特別総合実験・演習」の基礎となる。</p>							
<b>授業の概要</b>							
<p>人はどのように食べる仕組みを手に入れ、どのように健康を維持しているのか。楽しみとしての食事から疾病の予防・治療のための食事まで、人が食事に求める意味と機能について考える。調理科学的視点から“おいしさ”を捉え、社会的な要因による食事文化の変容が食行動へ及ぼす影響を理解する。これら食行動に及ぼす多様な要因を考慮し、栄養教育における行動科学理論の選択と関連して考える。</p>							
<b>到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が食事に求める意味と機能について理解することができる。</li> <li>・社会的な要因による食事文化の変容が食行動へ及ぼす影響を理解することができる。</li> <li>・食行動に及ぼす様々な要因を考慮し、栄養教育における行動科学理論の選択と関連して考えることができる。</li> </ul>							
<b>授業の方法</b>							
<p>教科書、文献資料、さらにパワーポイントと配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。 レポート課題</p>							
<b>ICT活用</b>							
<p>Google Formのアンケート作成機能を用いて双方向授業を取り入れる。</p>							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							

介護老人保健施設での管理栄養士経験を活かして授業を行います(白幡)

**課題に対するフィードバックの方法**

発表のつど講評を行う。  
レポート課題に講評をし返却する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	食行動科学とはなにか	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第2回	食行動科学の基礎①知覚の特徴	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第3回	食行動科学の基礎②食の感覚	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第4回	食行動科学の基礎③食における感覚の相互作用	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		

第5回	食行動の心身の理解① 食行動の人間科学的意義 生理的欲求と食行動	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第6回	食行動の心身の理解②欲求と食行動 レポート提出①	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第7回	ライフステージ別にみる食行動①胎児期化から青年期までの食の変化	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第8回	ライフステージ別にみる食行動①胎児期化から青年期までの食の変化 症例検討	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第9回	ライフステージ別にみる食行動①胎児期化から青年期までの食の変化 症例検討-ディスカッション レポート提出②	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第10回	ライフステージ別にみる食行動②成人期にわたる食の変化	関連する分野について、学部授業で学んだ内容を復習しておく(60分)	教科書や配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		

第11回	ライフステージ別にみる食行動②成人期にわたる食の変化 症例検討	関連する分野について、学部授 業で学んだ内容を復習しておく (60分)	教科書や配布資料を復習し、修 士論文研究に参考となる部分を まとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第12回	ライフステージ別にみる食行動②成人期にわたる食の変化 ディスカッション レポート提出③	関連する分野について、学部授 業で学んだ内容を復習しておく (60分)	教科書や配布資料を復習し、修 士論文研究に参考となる部分を まとめておくこと。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第13回	ライフステージ別にみる食行動③高齢期の食	関連する分野について、学部授 業で学んだ内容を復習しておく (60分)	教科書や配布資料を復習し、修 士論文研究に参考となる部分を まとめておくこと。(90分)
担当教員	白幡 亜希		
第14回	ライフステージ別にみる食行動③高齢期の食 症例検討	関連する分野について、学部授 業で学んだ内容を復習しておく (60分)	教科書や配布資料を復習し、修 士論文研究に参考となる部分を まとめておくこと。(90分)
担当教員	白幡 亜希		
第15回	ライフステージ別にみる食行動③高齢期の食 ディスカッション レポート提出④	関連する分野について、学部授 業で学んだ内容を復習しておく (60分)	教科書や配布資料を復習し、修 士論文研究に参考となる部分を まとめておくこと。(90分)
担当教員	白幡 亜希		
<b>成績評価の方法</b>			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	100	課題レポート(60%) 受講態度、講義への積極的な参加態度(40%) 総合的に評価する。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p><b>教科書</b></p>		
<p>配布プリント使用</p>		
<p><b>参考文献</b></p>		
<p>適宜紹介する。</p>		
<p><b>履修条件・留意事項等</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>備考欄</b></p>		
<p>常にパソコンを持参すること</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		専門基礎科目 専門基礎科目					
科目名		食品機能学特論				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分		単位	2
担当教員	峯尾 仁、檜垣 俊介						
<b>授業の位置づけ</b>							
<p>ディプロマ・ポリシーの「③学校給食などの食事提供事業所、食品関連事業所などにおいて、児童・生徒の食物アレルギー有病率、各種の食中毒などの要因について、食の安全確保に必要な仕組み、原因物質検査法、科学的評価、リスク管理を実施するための知識、食品衛生の国際標準などの専門性の能力を身に着けている。」ことと関連する科目である。「健康栄養学特論」「食物アレルギー学特論」「公衆栄養学特論」の基礎となる。</p>							
<b>授業の概要</b>							
<p>食品の機能性は一次機能(栄養素としての機能)、二次機能(嗜好性に関する機能)および三次機能(生理作用に関する機能)に分類される。本講義では二次機能および三次機能に着目し、保健機能食品として認可されている食品成分について概説した後、機能性オリゴ糖の開発ならびに基礎的・応用的研究から特定保健用食品として認可されるまでの申請手続きや審査についての過程を幅広く講述する。</p>							
<b>到達目標</b>							
<p>1.食品のもつ機能性という概念について説明出来る。                  2.我が国における機能性食品の位置づけ、種類と機能のメカニズムについて説明出来る。                  3.機能性物質についての基礎から応用までの研究方法を説明出来る。</p>							
<b>授業の方法</b>							
<p>配布したプリントに書かれているテーマについて担当した部分を履修者が発表する。                  発表内容について教員と履修者双方が検討し重要部分について討論する。                  発表項目について授業中に議論された事項を盛り込みながら修正し報告書を提出する。</p>							
<b>ICT活用</b>							
なし。							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							

該当なし。			
<b>課題に対するフィードバックの方法</b>			
講義終了時に当該回のテーマについてディスカッションを行い、理解度を確認する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	食品機能学特論の講義概要と履修方法について説明する(ガイドランス)。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第2回	食品における一次機能、二次機能、三次機能について理解する学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第3回	我が国における保健機能食品の制度と対象食品(栄養機能食品・特定保健用食品)について学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第4回	栄養表示基準の考え方と加工食品への記載のしかたについて学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			



第5回	栄養機能食品の考え方、対象となる栄養成分と表示のしかたについて学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第6回	特定保健用食品の考え方と対象となる機能性成分と表示のしかたについて学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第7回	さまざまな抗酸化機能成分の化学的特性と食品や生体における抗酸化メカニズムについて学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第8回	整腸作用に関与する食品中の化学成分・機能性成分の種類とその作用メカニズムについて学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第9回	血糖値の過剰な上昇を抑制する食品中の化学成分の種類とその作用メカニズムについて学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			
第10回	血圧の過剰な上昇を抑制する食品中の化学成分の種類とその作用メカニズムについて学ぶ。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員			

第11回	血糖上昇抑制に関する食品成分を用いての機能性表示食品の申請の流れを学ぶ。申請成分は授業時報告する。(檜垣)	消費者庁のホームページや論文などにおける申請について学習しておく。(90分)	授業で配布した資料を使用し、申請の流れを復習しておく。(90分)
担当教員			
第12回	整腸作用に関する食品成分を用いての機能性表示食品の申請の流れを学ぶ。申請成分は授業時に報告する。(檜垣)	消費者庁のホームページや論文などにおける整腸作用に関する申請状況について学習しておく。(90分)	授業で配布した資料を使用し、申請の流れを復習しておく。(90分)
担当教員			
第13回	中性脂肪に関する食品成分を用いての機能性表示食品の申請の流れを学ぶ。申請成分は授業時報告する。(檜垣)	消費者庁のホームページや論文などにおける中性脂肪に関する申請状況について学習しておく。(90分)	授業で配布した資料を使用し、申請の流れを復習しておく。(90分)
担当教員			
第14回	特定保健用食品の申請についての流れを学ぶ。(檜垣)	消費者庁のホームページや論文などにおける特定保健用食品に関する申請状況について学習しておく。(90分)	授業で配布した資料を使用し、申請の流れを復習しておく。(90分)
担当教員			
第15回	栄養機能食品と称して販売するための流れを学ぶ。(檜垣)	消費者庁のホームページや論文などにおける栄養機能食品と称して販売するための、国が定めた規格基準について学習しておく。(90分)	特定保健用食品、栄養機能性食品、機能性表示食品と表示がある食品について、それぞれの意味および申請方法についてまとめる。(120分)
担当教員			
<b>成績評価の方法</b>			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	毎回各項目について報告書を提出する	

<p>その他</p>	<p>30</p>	<p>受講態度ならびに講義への積極的な取組み姿勢を評価する。</p>
<p><b>教科書</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>参考文献</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>履修条件・留意事項等</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>備考欄</b></p>		
<p></p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		専門科目 健康栄養教育学分野					
科目名		健康教育学特論				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分		単位	2
担当教員	侘美 靖						
<b>授業の位置づけ</b>							
<p>ディプロマ・ポリシーの「健康栄養教育に必要な健康政策や医療制度の知識、地域住民の心身の健康度評価法、および社会調査法などの専門性の能力を身につけている(知識・技能)」ことと関係がある科目である。また「指導対象者それぞれの身体状況やライフスタイル、さらに健康知識の理解度に適応した指導方法を判断し、分かり易く説明できる(思考・判断・表現)」こととも関係する。「健康教育学特論演習」と「健康栄養科学特別総合実験・演習」の基礎となる。</p>							
<b>授業の概要</b>							
<p>心身の健康度水準と食生活および身体活動・運動などのライフスタイルとの関連性を確認し、QOL向上のために行動変容を促す指導方法を理解する。またヘルスプロモーションを積極的に推進するため、気候や環境整備状況など地域の特性を踏まえた健康づくりの方策について概説する。さらに、個人の健康状態を把握するための生理的・心理的手法を紹介し、それらの評価に基づいた具体的な健康づくりの指導法を修得する。</p>							
<b>到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな生活環境や生活要因と健康とのかかわりを関連づけることができる。</li> <li>・生活環境やライフスタイルに適したヘルスプロモーションの基本的な考え方を説明できる。</li> <li>・健康度の評価方法を応用し実施できる。</li> </ul>							
<b>授業の方法</b>							
<p>板書、視聴覚メディア(DVD)、参考図書、文献資料、さらにパワーポイントと配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。またアクティブラーニングとして配布された資料の一部を学生に割り振って、要点整理と発表をさせる。授業後に「理解度確認フォーム」を回答させ、授業ポイントや質問・感想などを記載させる。</p>							
<b>ICT活用</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義資料をGoogle Classroomで公開し、準備学習と事後学習などの自主学習を支援する。</li> <li>・Google Formのアンケート作成機能を用いて授業後の理解度確認と質問・意見を回答させる。</li> </ul>							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							

該当なし			
<b>課題に対するフィードバックの方法</b>			
フィードバックとして、講義の後に「理解度確認フォーム」を提出させる。質問などがあれば次回以降の授業で回答したり、補足資料配布を行う。			
<b>授業計画</b>	<b>学習内容</b>	<b>準備学習の内容および時間(分)</b>	<b>事後学習の内容および時間(分)</b>
第1回	ヘルスプロモーションの考え方 ・配布資料を分担して要点整理し発表を行う	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第2回	気候や生活環境とライフスタイル ・配布資料を分担して要点整理し発表を行う	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第3回	生活環境と健康格差	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第4回	健康行動理論の概要	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第5回	行動変容段階尺度	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第6回	メタボリックシンドロームとロコモティブシンドローム	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第7回	生涯スポーツの概要	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第8回	障がい者のスポーツ	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第9回	ストレス科学の概要、うつ病対策	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第10回	休養科学の概要	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第11回	睡眠科学の概要	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第12回	脳波による生理心理学的考察	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第13回	心電図による自律神経活動の評価	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第14回	心理測定尺度と感情の評価 POMS、気分調査、自己効力感	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第15回	社会調査法の概要	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
<b>成績評価の方法</b>			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	受講態度、討論参加への積極性、理解度確認フォームの記述内容から評価する。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>なし</p>
<p><b>教科書</b></p>		
<p>なし(必要に応じて資料を配布する)</p>		
<p><b>参考文献</b></p>		
<p>新版 生涯スポーツと運動の科学／上杉尹宏、晴山紫恵子、川初清典監修、佐美靖、花井篤子編集／市村出版                  ウェルビクス運動のすすめ－健康づくりと自立維持を目指す運動の実践のために－／竹島伸生編著／ナッブ</p>		
<p><b>履修条件・留意事項等</b></p>		
<p>なし</p>		
<p><b>備考欄</b></p>		
<p></p>		



2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		専門科目 健康栄養教育学分野					
科目名		健康教育学特論演習				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分		単位	2
担当教員	侘美 靖						
<b>授業の位置づけ</b>							
<p>ディプロマ・ポリシーの「健康栄養教育に必要な健康政策や医療制度の知識、地域住民の心身の健康度評価法、および社会調査法などの専門性の能力を身につけている(知識・技能)」ことと関係がある科目である。また「北海道の地域住民が抱える生活習慣病、加齢に伴う健康不安などの問題に関心を持つことができる(関心・意欲・態度)」こととも関係する。「健康教育学特論」と関連し、「健康栄養科学特別総合実験・演習」の基礎となる。</p>							
<b>授業の概要</b>							
<p>心身の健康度を評価する手法について文献および生理心理学的実験やフィールド調査により知識と技法を習得する。また身体活動・運動・スポーツを用いた保健指導や健康教室に関連して実際の指導例に関する情報を収集し、現状の課題を理解したうえで効率的な指導に向けての改善方法を身につける。</p>							
<b>到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の健康度を評価する手法について理解できる。</li> <li>実際に様々な機器や方法を使って測定調査ができる。</li> <li>効果的な健康教育活動が実施できる。</li> </ul>							
<b>授業の方法</b>							
<p>板書、視聴覚メディア(DVD)、参考図書、文献資料、さらにパワーポイントと配布印刷物を用いた情報提供を講義形式で行ったあと、生理的・心理的領域の各種測定機器や測定手法を実際に活用する能力を高めるため相互に測定しあう。</p>							
<b>ICT活用</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>講義資料をGoogle Classroomで公開し、準備学習と事後学習などの自主学習を支援する。</li> <li>Google Formのアンケート作成機能を用いて授業後の理解度確認と質問・意見を回答させる。</li> </ul>							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							

該当なし

**課題に対するフィードバックの方法**

フィードバックとして、講義の後に「理解度確認フォーム」を提出させる。質問などがあれば次回以降の授業で回答したり、補足資料配布を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	健康関連体力の評価(1) 心肺持久力	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第2回	健康関連体力の評価(2) 筋力一筋持久力、筋繊維組成	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第3回	柔軟性の評価とストレッチング	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第4回	バランス能力と神経反応速度	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第5回	自律神経活動、ストレス度の評価(唾液アミラーゼ、ECG周波数解析、指尖脈波解析)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第6回	栄養状態の評価食事摂取量 生理学生化学指標から	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第7回	骨密度の評価と骨粗鬆症予防 アクティブラーニングとして相互に骨密度測定を行う	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第8回	ドイツ黄金計画と総合型地域スポーツクラブの活動 (北海道内・日本国内の事例)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第9回	保健センター・健康づくりセンターの活動(札幌市、恵庭市、北広島市、中頓別町の事例)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第10回	温泉利用型・水中運動型健康増進施設(クアージュゆふいん、稚内水夢館の事例)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			

第11回	健康スポーツ・ニュースポーツ(事例:ミニバレーの特性と国際化への動き)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第12回	障がい者スポーツを取り巻く環境(事例:パラリンピック、札幌市健康づくりセンター)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第13回	災害被災地における健康維持・増進(福島県いわき市、岩手県陸前高田市の事例) 災害支援ボランティア、NPO、NGO、社会福祉協議会の活動	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第14回	地域に根差した健康ライフ形成事業、地域差、季節差(滝川市、大分県、鹿児島県、北海道離島の事例)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			
第15回	地域に根差したこれからの健康づくり(北広島市:Fビレッジ北海道ボールパーク)	関連する分野について学部授業で学んだ内容を復習しておくこと。(90分)	配布資料を復習し、修士論文研究に参考となる部分をまとめておくこと。(90分)
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	なし
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	受講態度、相互測定演習や討論参加への積極性、理解度確認フォームの記述内容から評価する。

その他	0	なし
<b>教科書</b>		
なし(必要に応じて資料を配布する)		
<b>参考文献</b>		
新版 生涯スポーツと運動の科学／上杉尹宏、晴山紫恵子、川初清典監修、佐美靖、花井篤子編集／市村出版		
<b>履修条件・留意事項等</b>		
なし		
<b>備考欄</b>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		専門科目 食品安全学分野					
科目名		食物アレルギー学特論				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分		単位	2
担当教員	續 佳代						
<b>授業の位置づけ</b>							
<p>ディプロマ・ポリシーの「食の安全に関する知識を駆使して、学校給食などの食事提供事業所、食品関連事業所などにおいて、児童・生徒の食物アレルギー有病率、各種の食中毒などの要因について考察ができる。(思考・判断・表現)」と特に関連する科目である。「食品衛生学特論」「公衆衛生学特論」「食物アレルギー特論実験」「健康栄養科学特別総合実験・演習」の基礎となる。</p>							
<b>授業の概要</b>							
<p>食物アレルギーは、特に先進国では増加傾向にあるといわれている。また、原因食品も多岐にわたっている。近年、食物アレルギーによるアナフィラキシーが原因で、死亡事故も発生しており、社会的にも問題となっている。本講義では、食物アレルギーの基本、すなわち、定義、症状、検査・診断法、治療法、疫学などを概説する。さらに、最新の研究例をもとに、食物アレルゲンの解析法、特性について深く学ぶことにより、社会において、より実践的に食物アレルギーへの対応が可能な知識を習得する。</p>							
<b>到達目標</b>							
<p>食物アレルギー分野に関する論文、専門書を読解し、研究計画を立案、実施、結果を解析、考察し、発表、論文としてまとめることができる。</p>							
<b>授業の方法</b>							
<p>パワーポイント、配布資料を用いて行う。 課題に対するレポートを作成する。 必要に応じて、原著論文や総説なども使用して理解を深める。</p>							
<b>ICT活用</b>							
なし							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							

該当なし			
<b>課題に対するフィードバックの方法</b>			
各回の講義において、重要事項に関するディスカッションを行い、理解度を確認する。			
<b>授業計画</b>	<b>学習内容</b>	<b>準備学習の内容および時間(分)</b>	<b>事後学習の内容および時間(分)</b>
第1回	食物アレルギー総論:食物アレルギーを巡る国際的な動向、日本における食物アレルギーの歴史、食物アレルギーの疫学・病型について学ぶ。	教科書(p2~28)を読んでおくこと。(90分)	第1回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第2回	食物アレルギー総論:食物アレルギーの免疫学、食物アレルギーと遺伝、食物アレルギーと環境因子、について学ぶ。	教科書(p29~54)を読んでおくこと。(90分)	第2回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第3回	食物アレルギー総論:感作の成立と予防対策、食物アレルギーの診断について学ぶ。	教科書(p55~75)を読んでおくこと。(90分)	第3回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第4回	食物アレルギー総論:アレルギーの構造と機能、鶏卵・魚卵・鶏肉、牛乳・牛肉について学ぶ。	教科書(p76~99)を読んでおくこと。(90分)	第4回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			

第5回	食物アレルゲン:小麦・ソバ・穀類、種子について学ぶ。	教科書(p100～117)を読んでおくこと。(90分)	第5回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第6回	食物アレルゲン:魚類・甲殻類・軟体類、果物・野菜について学ぶ。	教科書(p118～139)を読んでおくこと。(90分)	第6回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第7回	食物アレルギーの臨床各論:卵アレルギー、牛乳アレルギー、小麦アレルギーについて学ぶ。	教科書(p140～163)を読んでおくこと。(90分)	第7回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第8回	食物アレルギーの臨床各論:ピーナッツ・ナッツ類アレルギー、大豆・ゴマアレルギーについて学ぶ。	教科書(p164～179)を読んでおくこと。(90分)	第8回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第9回	食物アレルギーの臨床各論:魚・甲殻類アレルギー、果物アレルギー、その他の食物アレルギーについて学ぶ。	教科書(p180～203)を読んでおくこと。(90分)	第9回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			
第10回	食物アレルギーの臨床的課題:アナフィラキシー、食物依存性運動誘発アナフィラキシー、新生児～乳児消化管アレルギーについて学ぶ。	教科書(p204～238)まで読んでおくこと(90分)	第10回のキーワードをノートに整理しておくこと(90分)
担当教員			



第11回	食物アレルギーの臨床的課題:成人の食物アレルギー、栄養・食事指導、経口免疫療法について学ぶ。	教科書(p239～275)までを読んでおくこと。(90分)	第11回のキーワードをノートに整理しておくこと。(90分)
担当教員			
第12回	食物アレルギーに関連する社会的諸問題:給食・外食産業、アレルギー食品の表示、行政・専門学会の動向について学ぶ。	教科書(p276～283、309～319、333～341)を読んでおくこと。(90分)	第12回のキーワードをノートに整理しておくこと。(90分)
担当教員			
第13回	【論文講読】和文読解:食物アレルギーに関する論文を読解して要約を作成する。アクティブラーニングとして、論文に記載されているアレルギーについて、学生が専門書等で調べてまとめたことを発表する。	第12回の授業で配布された論文を読んでおくこと。(90分)	配布資料を復習し、ノートに整理しておくこと。(90分)
担当教員			
第14回	【論文講読】英文読解:食物アレルギーに関する論文を読解して要約を作成する。アクティブラーニングとして、論文に記載されているアレルギーについて、学生が専門書等で調べてまとめたことを発表する。	第13回の授業で配布された資料を読んでおくこと。(90分)	配布資料を復習し、ノートに整理しておくこと。(90分)
担当教員			
第15回	【まとめ】口頭試問およびレポート課題により理解度を確認する。	教科書、および配布資料を再度、読んでおくこと。(90分)	レポート課題を行うこと。(90分)
担当教員			
<b>成績評価の方法</b>			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	レポート課題、プレゼンテーション等	

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>なし</p>
<p><b>教科書</b></p>		
<p>食物アレルギーのすべて(伊藤浩明 編著 診断と治療社)</p>		
<p><b>参考文献</b></p>		
<p>成人食物アレルギー(福富友馬 著 日本医事新報社)                  解いて学ぶ!「おとな」の食物アレルギー(鈴木慎太郎 著 文光堂)</p>		
<p><b>履修条件・留意事項等</b></p>		
<p><b>備考欄</b></p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		専攻共通科目 専攻共通科目					
科目名		学術論文作成法				ナンバリング	
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分		単位	2
担当教員	峯尾 仁						
<b>授業の位置づけ</b>							
<p>ディプロマ・ポリシーの「①健康増進を求める北海道の地域住民が抱える生活習慣病、加齢に伴う健康不安などの問題、健康の基本である食品の安心・安全に対する社会の関心を的確に把握し、今後展開されるより高度な社会システムの構築や産業構造に対応できる高度な専門知識と研究技術を習得している」と関連する科目である。「プレゼンテーション技術演習」「健康栄養科学特別総合実験・演習」の基礎となる科目である。</p>							
<b>授業の概要</b>							
<p>和文学術誌および英文学術誌への論文投稿を想定して研究結果をまとめ、論理的に記述する能力を養うことを目的とする。所属分野の学会などに投稿し、その成果を斯界に公表し、新しい知見や学説を広めることは、科学の進歩にとって極めて重要なことである。そこで、どの分野の論文にも共通する項目の研究の背景、目的、独創性、意義が論文の中に表現されるか、参考例や研究しているテーマを題材として、演習体験を通して講述する。</p>							
<b>到達目標</b>							
<p>修士論文が作成出来、さらに関連学会誌、大学紀要などへの査読付き論文誌へ投稿し、審査を受けることができる。</p>							
<b>授業の方法</b>							
<p>板書とパワーポイント、および印刷物を配布して講義を進める。さらに、模擬論文の作成、既出の学術論文のレビューを体験する。最終回に卒業論文を題材として国内学会誌の投稿規定に従って模擬投稿論文を作成し、ディスカッションする。</p>							
<b>ICT活用</b>							
なし。							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							

該当なし。			
<b>課題に対するフィードバックの方法</b>			
フィードバックとして、提出した論文要旨について論文作成法と照らし合わせ、解説し、修正・加筆をする。			
<b>授業計画</b>	<b>学習内容</b>	<b>準備学習の内容および時間(分)</b>	<b>事後学習の内容および時間(分)</b>
第1回	学術論文の種類、範囲、作成に当たっての準備について学ぶ。	配布資料を読み有用となるポイントや疑問点を明らかにしておくこと(90分)	配付資料や講義中にとったメモを良く読み理解する。(90分)
担当教員			
第2回	修士論文の体裁、構成について学ぶ。	配布資料を読み有用となるポイントや疑問点を明らかにしておくこと(90分)	配付資料や講義中にとったメモを良く読み理解する。(90分)
担当教員			
第3回	学術論文投稿から掲載までの一般的な流れについて学ぶ。	配布資料を読み有用となるポイントや疑問点を明らかにしておくこと(90分)	配付資料や講義中にとったメモを良く読み理解する。(90分)
担当教員			
第4回	題名(日本語および英文)の書き方を学ぶ。	配布資料を読み有用となるポイントや疑問点を明らかにしておくこと(90分)	実際に英語で論文タイトルを書いてみる(90分)
担当教員			

第5回	日本語サマリーと英文サマリーの書き方、および自身の論文サマリー (Nature誌様式) の作成・提出	予め自身の研究テーマについて概要や簡潔な文章を作成しておく(90分)	配付資料や講義中にとったメモを良く読み理解する。(90分)
担当教員			
第6回	緒論の考え方、方法の述べ方、結果を簡潔明瞭に作成する考え方について。前回提出の英文サマリーについて討論し、加筆・修正を行う。	配布資料を読み有用となるポイントや疑問点を明らかにしておくこと(90分)	配付資料や講義中にとったメモを良く読み理解する。(90分)
担当教員			
第7回	実験方法、実験材料の述べ方を学ぶ。	実際の自分が実施している研究について予め用意しておく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			
第8回	実験結果の書き方を学ぶ。	実際の自分が実施している研究について予め用意しておく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			
第9回	図表の書き方を学ぶ。	実際の自分が実施している研究について予め用意しておく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			
第10回	図表Legend(説明文)の書き方を学ぶ。	実際の自分が実施している研究について予め用意しておく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			

第11回	考察の流れ、文献を有効に活用する考え方を学ぶ。	実際の自分が実施している研究について予め用意しておく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			
第12回	結論までの道筋、文献活用の諸注意、要旨作成の考え方を学ぶ。	実際の自分が実施している研究について予め用意しておく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			
第13回	引用文献の書き方及び謝辞の述べ方を学ぶ。	実際の自分が実施している研究について予め用意しておく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			
第14回	投稿後のレフリー審査に対する返答の書き方を学ぶ。	予め過去の投稿に対するコメントの配付物を読んでおく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものについてシミュレーションしてみる(90分)
担当教員			
第15回	卒業論文を題材として国内学会誌の投稿規定に従って模擬投稿論文の作成する。	過去の卒業論文をいくつか読んでおく(90分)	配付資料を良く読み、自身の作成したものと比較して修正する(90分)
担当教員			
<b>成績評価の方法</b>			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	各回の課題についてレポートを提出する。	

<p>その他</p>	<p>30</p>	<p>模擬投稿論文の内容評価</p>
<p><b>教科書</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>参考文献</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>履修条件・留意事項等</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>備考欄</b></p>		
<p></p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		専攻共通科目 専攻共通科目					
科目名		健康栄養科学特論				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分		単位	2
担当教員	木村 浩一、峯尾 仁、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、藤井 駿吾、渡部 俊弘、檜垣 俊介、佐々木 将太						
<b>授業の位置づけ</b>							
ディプロマ・ポリシーの「健康栄養教育に必要な健康政策や医療制度の知識、地域住民の心身の健康度評価法、および社会調査法などの専門性の能力を身につけている。(知識・技能)」等と関連する科目である。広く疾病の予防、健康増進、栄養管理、食育計画、食品衛生、病原微生物、食品機能、食物アレルギー、運動等をキーワードにした大学院の教育科目全般に関与する。							
<b>授業の概要</b>							
疾病の予防、健康増進、栄養管理、食育計画、食品衛生、病原微生物、食品機能、食物アレルギー、運動等をキーワードにして、各教員の専門分野の最新の情報・知識を講述する。							
<b>到達目標</b>							
健康栄養学の分野区分、「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」、「社会・環境と健康」、「食べ物と健康」、「栄養教育論」についてより専門的で最新の情報が理解出来る。							
<b>授業の方法</b>							
各担当教員ごとにパワーポイントと配布印刷物を用いて講義形式ですすめる。 各担当教員ごとに講義終了時に関連問題を用いての理解度確認を行う。 フィードバックとして問題の解答・解説を行い重要なキーワードを確認する。 最終回に健康栄養科学の関心事について、あらかじめ調査して発表し、教員とディスカッションを行う。							
<b>ICT活用</b>							
なし。							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							



該当なし。			
<b>課題に対するフィードバックの方法</b>			
フィードバックとして毎回提出のレポートの課題の解答および解説を行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	カルシウム摂取と骨の関係、骨粗鬆症の予防に有効とされるカルシウム摂取に対する最新の知見を紹介する。(木村)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	木村 浩一		
第2回	微生物の迅速同定法、微生物の迅速同定に用いられている遺伝子検査の原理と手技について。(木村)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	木村 浩一		
第3回	スポーツ選手や運動愛好者における健康食品とサプリメントの利用状況と問題点について。(侘美)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	侘美 靖		
第4回	スポーツ選手や運動愛好者における健康食品とサプリメントの利用状況と問題点について。(侘美)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	侘美 靖		

第5回	食物アレルギーの現状、検査・治療法、原因食品、社会における 対応の現状と対策、などについて。(續)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	續 佳代		
第6回	免疫の基礎、免疫力を亢進する食品、食品のアレルギー抑制効果、およびその成分などについて。(續)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	續 佳代		
第7回	海外留学をする際の受け入れ先との交渉、渡航手続き、研究の進め方等について概説する。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	峯尾 仁		
第8回	デンマーク王国コペンハーゲン大学への留学経験からえられた大学組織、研究室、研究の進め方等について概説する。(峯尾)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	峯尾 仁		
第9回	化学物質としての味物質およびその受容メカニズム・認識メカニズムについて概説する。(渡部)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	渡部 俊弘		
第10回	化学物質としての匂い物質およびその受容メカニズム・認識メカニズムについて概説する。(渡部)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	渡部 俊弘		

第11回	アクティブラーニングの実践として、現在、健康栄養科学分野で最も関心のある出来事についてあらかじめ調査して発表し、教員とディスカッションを行う(小塚)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第12回	食行動科学(生理学的要因・社会的要因)人は何のために食べるのか。食べない努力が必要となった食環境と共に考える。(小塚)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	小塚 美由記		
第13回	スポーツ栄養の基本事項およびスポーツ栄養マネジメント、サポートについて。(佐々木)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	佐々木 将太		
第14回	希少糖について学ぶ。(檜垣)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	檜垣 俊介		
第15回	食品成分の有効性と安全性について、代謝と分子メカニズムに焦点を当てて考える。(藤井)	事前に配布したプリントを読み、キーワードを書き出しておく。(90分)	配布プリントを復習し、キーワードの理解がなされたか確認する。(90分)
担当教員	藤井 駿吾		
<b>成績評価の方法</b>			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	毎回提出する小課題のレポート。	

<p>その他</p>	<p>30</p>	<p>受講態度、講義への積極的な参加姿勢などにより総合的に評価する。</p>
<p><b>教科書</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>参考文献</b></p>		
<p>特にないが、必要に応じてプリントを配付、あるいはWebサイトを紹介する。</p>		
<p><b>履修条件・留意事項等</b></p>		
<p>なし。</p>		
<p><b>備考欄</b></p>		
<p>なし。</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		大学院 健康栄養科学研究科					
区分		特別研究 特別研究					
科目名		健康栄養科学特別総合実験・演習				ナンバリング	
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分		単位	8
担当教員	木村 浩一、峯尾 仁、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘						
<b>授業の位置づけ</b>							
<p>教育上の理念に基づいて本専攻では、高度で専門的な健康栄養科学を追究し、知識・技術を修得するため、「健康栄養教育学分野」及び「食品安全学分野」の2分野を設けて教育課程を体系的に編成された最終的な修士論文作成のための科目である。ディプロマポリシーの「研究を遂行し、研究結果を論文にまとめて発表できる能力を身につけている。(思考・判断・表現)」ことと関連する科目である。各分野での必修科目および関連選択科目と関連している。</p>							
<b>授業の概要</b>							
<p>学位論文における研究テーマの選定、実験、演習、解析、評価、発表を通じて、分析能力と論理的思考の向上を図るとともに問題解決やコミュニケーション能力の醸成を目的として、健康栄養科学に関して、研究の実践、指導を行い、修士論文指導を行う。</p>							
<b>到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・修士論文を作成できる。</li> <li>・研究成果を中間発表会および公開最終発表会において発表できる。</li> <li>・発表会において、質疑に的確に応答できる。</li> </ul>							
<b>授業の方法</b>							
<p>各研究指導教員の指導の下に常時ディスカッションをしながら研究を進める。</p>							
<b>ICT活用</b>							
<p>なし。</p>							
<b>実務経験のある教員の教育内容</b>							

なし。			
<b>課題に対するフィードバックの方法</b>			
課題に対するフィードバックとして、最終的に修士論文審査委員会(主査1名、副査2名以上)により、可否が決定される。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	研究課題の決定及び研究計画の立案と研究計画書の作成 文献や討議等を通じて、関心のある課題の情報を収集し、指導教員の指導の下、研究課題を決定し、対象、方法、予測される研究の意義を検討しながら研究計画を立案し、研究計画書を作成する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、佐美 靖、渡部 俊弘		
第2回	研究課題の決定及び研究計画の立案と研究計画書の作成 文献や討議等を通じて、関心のある課題の情報を収集し、指導教員の指導の下、研究課題を決定し、対象、方法、予測される研究の意義を検討しながら研究計画を立案し、研究計画書を作成する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、佐美 靖、渡部 俊弘		
第3回	研究計画の発表と評価及び研究の前段的遂行 研究計画を発表し、評価を受ける。評価に基づいて計画の修正を行う。さらに文献の調査、先行研究の整理、仮説の設定に基づき、本研究の前段階としての予備実験や予備調査を始め、本実験、本調査などを開始する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、佐美 靖、渡部 俊弘		
第4回	研究計画の発表と評価及び研究の前段的遂行 研究計画を発表し、評価を受ける。評価に基づいて計画の修正を行う。さらに文献の調査、先行研究の整理、仮説の設定に基づき、本研究の前段階としての予備実験や予備調査を始め、本実験、本調査などを開始する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、佐美 靖、渡部 俊弘		

第5回	本研究の本格的な研究遂行 指導教員の指導の下で実験・実習を遂行する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第6回	本研究の本格的な研究遂行 指導教員の指導の下で実験・実習を遂行する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第7回	研究の進捗状況の報告及び中間発表会 公開による中間発表会開催に向け、研究の集大成としての まとめをする。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第8回	研究の進捗状況の報告及び中間発表会 公開による中間発表会開催に向け、研究の集大成としての まとめをする。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第9回	本研究の後段的遂行 研究科委員会での中間発表会における質疑、示唆結果を もとに、本研究の遂行をさらに発展させ、研究のまとめにと りかかる。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第10回	本研究の後段的遂行 研究科委員会での中間発表会における質疑、示唆結果を もとに、本研究の遂行をさらに発展させ、研究のまとめにと りかかる。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		

第11回	本修士論文研究の最終的段階	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第12回	修士論文作成 中間発表の結果をもとに、追加実験や再分析をしながら論文を作成する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第13回	修士論文作成 中間発表の結果をもとに、追加実験や再分析をしながら論文を作成する。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第14回	修士論文の発表と評価 研究成果を研究科委員会主催の公開発表会において発表を行い、審査を受ける。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
第15回	修士論文の修正 研究成果を研究科委員会主催の公開発表会において指摘、コメント、アドバイスを基に修士論文の修正をおこなう。	なし。	なし。
担当教員	峯尾 仁、木村 浩一、小塚 美由記、續 佳代、侘美 靖、渡部 俊弘		
<b>成績評価の方法</b>			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	研究過程と提出された修士論文および論文の公開発表により評価する。	



<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p><b>教科書</b></p>		
<p>なし.</p>		
<p><b>参考文献</b></p>		
<p>「学術論文作成法」の中で示された本研究科の修士論文作成法を参照する。また、必要に応じてプリント配付する。</p>		
<p><b>履修条件・留意事項等</b></p>		
<p>修士論文の指導教員と密接に連携して実施する。また、修了要件の単位数を満たしていること。</p>		
<p><b>備考欄</b></p>		
<p>なし.</p>		